

第 15 回 矢吹町複合施設整備検討委員会議事録

平成 31 年 1 月 23 日（水）午後 6 時 00 分～

矢吹町文化センター小ホール

1 開会

2 委員長挨拶

少し遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。昔、「思えば遠くへ来たもんだ」という歌がありました。今日は第 15 回目ですが、思えばよくここまで皆さんの意見を合わせて形にしてきたものだと思います。この後ご説明いただきますが、実施設計が取りまとまり、いよいよこの次の段階では、施工業者を含めて着工ということになります。建設工事が始まれば、建築というのはあれよあれよという間に一気にいきます。今までと時間の流れが変わるわけですが、その間もきちんと見続けていきたいと思ひますし、子育てと同じで出来た後も、自分たちの施設にしていく上では運営がとても大事ですから、この会議はその段階までみなさんにさらに協力をお願いすることになりますので、最後の意見を言って次への期待を込めるとともに、出来上がるまで気を緩めずに見守っていこうという様な会議に出来ればと思ひております。また今日も頑張りますのでよろしくお願ひします。

3 議事

(1) 議事録署名人の選出

〇〇委員、〇〇委員にお願いしたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひいたします。

(2) これまでの経過報告

(事務局説明)

委員長：事務局から説明を頂きました内容について、ご意見、ご質問等ございましたらお願ひします。この委員会や公共施設等調査特別委員会で、駐車場について利用者が道路を渡ると危険ではないか、など安全の確保についてご意見ありましたが、公共施設というのは民間の施設と違って、その敷地内だけ一番いいものを作るといふのではなく、施設が出来ることで町全体が良くなっていく、安全であったり景観が良くなったり、あるいは様々な活動が生み出されたり、そういう意味では道路を渡ることの安全面についてご意見があった場合は、それを機会に道を良く

していくというような動きになっていけばと思う。駐車場そのものを敷地内に増やすことは難しいとして、頂いたご意見を次のまちづくりに繋げていければ良いのでは。カフェに関しては、最近は図書館に入ると最初にカフェがあり、そこで気持ちを切り替えてから行くという様な作りであったり、図書館の中にスターバックスがあったり、従来とは違う組み合わせで新しい人の動きや利用を促す、というようなことを踏まえてのご意見だったと思う。それに関して、大正ロマンの館との住み分けという説明がされたが、むしろこの後の運営も併せて連携して、この施設が出来ることで大正ロマンの館が活性化し、それによって図書館の利用が増えるように話し合いを続けていければ。

委員：ワークショップに参加した子供たちからの意見にあった、屋台を実際に引っ張る体験や太鼓体験について、一区、二区それぞれ関係の自治会役員に知らせ、地域にとっても大変うれしいことなので前向きに検討する。この施設に大屋台を格納出来るのは喜ばしく、地域の人々も期待している。可能な限り、地域の子供たちに対しどういったことができるか検討していきたい。

委員長：こういう話し合いの機会は、どういう風に受け止めたのかをきちんと参加してくれた人達に投げ返すというのが大事だと思う。今の委員の発言を、参加してくれた子供たちにしっかり返せれば。

委員：子供達の見解の中に飲食するスペースを、というのが多数出ている。施設内にカフェを作る考えはないということだが、今のままでは、子供達が集まるようなスペースではないような気がする。大正ロマンの館をどうしていくかというのが課題だと思う。

委員長：大正ロマンの館と今度の施設を、どういう風に歩いて楽しいまちづくりに繋げていくか、という考えもあると思う。その時には信金さんにも訴えかけて、みんなでいい町を作っていく、というのが広がっていけば。

(3) 矢吹町複合施設実施設計について

(事務局説明)

委員：駐輪場について、囲いなどで中が見えにくくなると場所が分かりづらかったり、子供達のたまり場になってしまうのではないかと。また、施設の屋根の雨や雪の対策はどうなっているのか。

事務局：中がはっきりとは見えないながらも、駐輪場であるとハッキリ分かる作りとし、
たまり場となるような閉鎖的な空間にはしない計画である。

設計者：屋根の落雪対策について、まず今回の施設の屋根は、上下の屋根と庇の3層構造
になっている。一番上の屋根にはL字型の雪止めがあり、一番上の屋根から雪が
落ちるのを止める。上の屋根から雪が落ちたとき、その下の屋根の方が大きいので
二重でアングルを軒先に回す。基本的には上の屋根、下の屋根ですべての雪を
止める。雪解け水に関しては、すべて庇に落ちる構造になっている。過去に施工
した建物でも落雪が起きていないということから、安全は確保できるものと考え
ている。屋根の水はすべて、大庇の内側に仕込んである雨樋に集水するため、軒
先からガラガラと垂らすことはない。軒先で水を受けるとどうしてもオーバーフ
ローする場合があります、それが風に乗って建物の壁を汚すこともあるので、軒先か
らは一切水を垂らさない構造になっている。堅樋は柱に沿って付ける。図書館の
ところは外壁部分付けている。東側のエントランスは、雨樋をつけずに庇を左右
に分けて北側に集める。雨量計算を行って堅樋の設計をしている。

委員長：奥州街道北側からの見え方として、駐輪場がずらりと見えることになるのか。

事務局：施設北側については、基本的にあまり高くない木塀を敷地の境界に建てていく考
え。駐輪場は正面に来れば自転車は見えるが、北側からだとも自転車は直接見えな
いような形で現在計画している。

委員長：デザインや景観的な観点から検討してほしい。

委員：BM車庫から出て来たところが駐車場3台分のスペースとなっているが、ここは
マイクロバスぐらいの大きさの車が通るのに邪魔にならないのか。また、手前の
交差点から施設へ上がっていくところ、駐車場からのスロープの向こう側の幅が
広がったと説明のあった階段が西側にはあるが、横断歩道を渡っていったとき
にそこを上って真ん中の玄関まで行くのか。緑の部分に階段は必要ないか。駐車
場の配置で、3台並んでいるところの一番奥は、頭から入れるしかないと思うが、
それであれば道路からまっすぐ頭を入れる配置もあり得るのではないかと。

事務局：駐車場に関しては、車両が出入りする際に影響があるところに3台分ある。運用
上、現在の考えでは影響する部分に関して、車両が出入りする際にはその部分の
駐車は出来ないような形で運用していく。それが何台分影響してくるのか、設計

者含め検討中である。南西の角の部分、今のところ芝の法面にすることを考えているが、階段等の配置については、これから検討し決定する。

委員：中央公民館の1階の事務室の中に返却ポストがあるようだが、公民館の事務室にあるというのはどうなのか。エントランス入口の反対側に作れないか。また、子育て支援室は預かりもする計画なのか。もし預かりをする場合、子供が寝てしまった時の対応は考えているのか。

事務局：ブックポストは、昼間の図書館が開館している時間帯には返却しないという運用など、ある程度時間制限することを考えている。そういったところで、一番管理が行き届くのは事務室であると検討した結果なのでご理解いただければ。

事務局：一時預かりの件は、対象者を施設利用者とするのか、施設の利用は関係なく町内全体を対象とするのかということや、料金設定などについて現在検討中である。

委員長：現段階での考え方についてご説明いただいたが、課題として受け止めていただけたら。

委員：ガラスが多いのは明るくていいが、地震がきたときに割れたガラスが落ちてきているところを避難することも考えられる。南側、信金さん側の出入り口についてはパースを見ても1mぐらい庇が出ているように見えるので、こちらは心配ないと思うが、東側の屋台入口上の庇を、避難の際その下でワンクッションおける様もう少し伸ばすなど、安全性をもう少し検討できないか。

設計者：庇を出すなど、再度十分に検討していきたいと思う。

委員長：清掃の仕方についてはどう考えているか。

設計者：今現在、清掃のための昇降機などは特に考えていない。ただ、非常に庇が大きく出ている建物なので、窓に汚れはつきにくい。管内の職員が清掃するには大きすぎるし、業者に依頼し定期的に清掃するのがメインになる。

委員：通路に置いてある消化器はよく倒れてしまうので、可能な限り壁の中に収納してほしい。

設計者：今現在、消火栓の脇に一か所ずつ消化器を埋め込みで設置する設計となっている。

消防との打合せの中で、ボックスがない場所に設置する場合も出てくる。その時に、簡単には倒れないよう固定方法を入念に検討する。

委員：動販売機の設置はどうなっているのか。飲み物は持ち込まなければいけないのか。

事務局：正面入って左側に、館内や矢吹町の情報を示すものと自動販売機とが一体化した機械の設置を予定している。

委員：徒歩でこの施設へ来る場合、奥州街道を通る方が多いと思われるが、車の場合は駐車場が西側にあるので、信金側かもしくは4号線の方から入ってくるようになると思う。途中、とても狭い道路があるが今後まちづくりとして道路の整備を考えていただきたい。また、これから本設計に入ると思うがくれぐれも予算内に収めて欲しい。

事務局：建物南側の本町7号線については、震災後の町の復興道路計画で国道4号線まで拡幅の計画がある。直近では、本町7号線と本町8号線について緊急の対応として歩道をつける。将来的には本町8号線についても拡幅に向けて検討していく。

委員：北西の駐車場は、国道4号線からはどう入るのか。白河方面から来ると右折するのは難しいのではないか。

事務局：国道4号線からの入り口があるので進入は可能である。郡山方面からだと左折が可能だが、白河方面からだと、現段階では対向車がいた場合入るのは難しい状況である。

委員：スロープをもう少し伸ばして傾斜を緩やかにして欲しい。また、歩道側にも降りていける様に両側に分けていただくと、交差点側からも入りやすいのではないか。

事務局：検討させていただく。

委員：中央公民館長さんから、ワークショップの感想をお話いただければ。

中央公民館長：今回、小・中・高校生に積極的に参加していただき、大変多くの貴重な意見をいただいた。いただいた意見を踏まえてこれからの事業展開に役立てたい。

委員 長：運営などの細かい点については、これからさらに見続けていくということで、この実施設計については本委員会で承認するというところでよろしいでしょうか。

委 員：異議なし。

委員 長：以上で議事を終了する。

4 その他

事 務 局：今回の実施設計に関して、住民報告会を1月25日（金）に文化センター小ホールで開催する。内容は今日説明した図面を資料として、これまでの経過を報告する。

5 閉会